

[様式第 2 号及び様式第 2－2 号の作成方法等]

1 使用様式

各選抜において、使用する様式は下表のとおりである。

なお、令和 8 年 3 月以前の卒業者又は中学校第 3 学年に就学すべき期間の全部において外国の学校（施行規則第 95 条第 2 号に規定する在外教育施設を除く。以下同じ。）及び日本国内における外国人学校に在籍する者については、様式第 2 号及び様式第 2－2 号を提出しなくてよい。

様式番号	使用する選抜
様式第 2 号	一次選抜（併設型高等学校）、帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜（併設型高等学校）
様式第 2－2 号	一次選抜（併設型高等学校を除く全日制の課程、定時制の課程、フレキシブル課程（定時制・通信制））、二次選抜、帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜（併設型高等学校を除く。）、連携型中高一貫教育に関する選抜、通信制の課程の選抜

2 作成基準日

- (1) 一次選抜（併設型高等学校）、帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜（併設型高等学校）
第 3 学年の 2 学期末現在で記入する。ただし、2 学期制の中学校にあっては第 3 学年の 12 月末現在で記入する。
- (2) 一次選抜（併設型高等学校を除く全日制の課程、定時制の課程、フレキシブル課程（定時制・通信制））、二次選抜、帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜（併設型高等学校を除く。）、連携型中高一貫教育に関する選抜、通信制の課程の選抜
第 3 学年の 1 月末現在で記入する。

3 生徒数欄

第 3 学年の在籍生徒全員の人数を記入する。

4 各教科の評定

第 3 学年の在籍生徒全員について、第 3 学年の各教科の 5 段階評定における人数をそれぞれ記入する。ただし、別紙 1 の 2 (2) 及び(3)（P 110）により、指導要録に 5 段階評定が記入されていない者は除く。

5 小計欄

教科ごとに各評定の人数の計を記入する。

6 上記以外の評価である人数欄

別紙 1 の 2 (2) 及び(3)（P 110）により、指導要録に 5 段階評定が記入されていない者の人数の合計を記入する。

なお、別紙 1 の 2 (2) 及び(3)（P 110）により、指導要録に 5 段階評定が記入されていない者があるときは、備考欄に「生徒○人について、第 3 学年に就学すべき期間の一部において、外国の学校在籍により評定が空欄になる。」、「生徒○人について、第 3 学年の全教科とも記述形式で指導要録を記入し

ている。」旨を記入する。

7 合計欄

小計欄の人数と上記以外の評価である人数欄の人数の合計を記入する。

なお、この合計欄に記入される人数は、生徒数欄の人数と一致するものである。

8 その他

志願先高等学校（課程別、本分校別）に1部提出すること。